



平成29年9月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年7月26日

上場会社名 Kiホールディングス株式会社
 コード番号 6747 URL <http://www.koito-ind.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山口 常雄

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 田地川 章

TEL 045-822-7101

四半期報告書提出予定日 平成29年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年9月期第3四半期の連結業績(平成28年10月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第3四半期	32,499	16.5	2,130	48.4	2,310	40.2	1,176	61.2
28年9月期第3四半期	38,903	2.1	4,130	14.2	3,866	14.9	3,028	

(注) 包括利益 29年9月期第3四半期 2,716百万円 (4.9%) 28年9月期第3四半期 2,854百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年9月期第3四半期	28.39	
28年9月期第3四半期	73.07	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年9月期第3四半期	42,503	12,227	21.1	216.75
28年9月期	42,917	10,200	16.6	172.32

(参考) 自己資本 29年9月期第3四半期 8,981百万円 28年9月期 7,141百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年9月期		0.00		0.00	0.00
29年9月期		0.00			
29年9月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注2) 当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では期末日における配当予想額は未定であります。

3. 平成29年9月期の連結業績予想(平成28年10月1日～平成29年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,000	14.4	2,800	47.3	2,900	42.1	1,500	55.6	36.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年9月期3Q	41,587,061 株	28年9月期	41,587,061 株
期末自己株式数	29年9月期3Q	151,258 株	28年9月期	147,507 株
期中平均株式数(四半期累計)	29年9月期3Q	41,437,915 株	28年9月期3Q	41,441,262 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(参考)

平成29年9月期の個別業績予想（平成28年10月1日～平成29年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
通 期	250 △ 24.1	△ 950 —	850 △ 44.7	1,050 △ 62.8	25.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業収益や雇用情勢に改善が見られ、緩やかな回復が見られたものの、不安定な世界情勢等により、先行きに不透明感が拡大する状況で推移いたしました。

このような経済環境のもとで、当社グループのセグメント別売上高は以下の状況となりました。

輸送機器関連事業につきましては、鉄道車両機器部門及び中国子会社が売上減となったことにより、前年同期比26.6%減の14,975百万円となりました。

電気機器関連事業につきましては、照明部門及び交通システム部門の信号機保守事業が売上増となったものの、情報システム部門が売上減となったことにより、前年同期比4.9%減の16,379百万円となりました。

住設環境関連事業につきましては、環境システム部門が売上増となったものの、住設機器部門が売上減となったことにより、前年同期比9.1%減の1,144百万円となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループ全体の売上高は、前年同期比16.5%減の32,499百万円となりました。

損益につきましては、原価低減及び経費削減に努めたものの、売上の減少などにより、営業利益は前年同期比48.4%減の2,130百万円と前年同期に比べ減少し、営業利益の減少を受け、経常利益も前年同期比40.2%減の2,310百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、前年同期は特別利益に損害賠償引当金戻入額を計上したこともあり、前年同期比61.2%減の1,176百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産につきましては、流動資産は受取手形及び売掛金の減少1,152百万円、原材料及び貯蔵品の増加447百万円などにより、前連結会計年度末に比べ709百万円減少し、29,692百万円となりました。また、固定資産は投資有価証券の増加475百万円などにより、前連結会計年度末に比べ295百万円増加し、12,810百万円となりました。これらの結果、資産合計は前連結会計年度末に比べ414百万円減少し、42,503百万円となりました。

負債につきましては、1年内返済予定の長期借入金の減少1,024百万円、長期借入金の減少1,013百万円などにより、前連結会計年度末に比べ2,441百万円減少し、30,276百万円となりました。

純資産につきましては、親会社株主に帰属する四半期純利益1,176百万円、その他有価証券評価差額金の増加326百万円、為替換算調整勘定の増加304百万円などにより、前連結会計年度末に比べ2,026百万円増加し、12,227百万円となりました。

また、当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度に比べ399百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末には4,504百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因はつぎのとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、増加した資金は3,062百万円(前年同四半期は796百万円の使用)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益2,310百万円、売上債権の減少1,681百万円などの増加に対し、法人税等の支払額369百万円、仕入債務の減少189百万円などの減少によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は144百万円(前年同四半期は12百万円の増加)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出134百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は2,624百万円(前年同四半期は466百万円の増加)となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出2,038百万円、非支配株主への配当金の支払額685百万円、短期借入金の純増額100百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年4月25日に公表いたしました連結業績予想からの修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,105	4,504
受取手形及び売掛金	17,227	16,074
製品	3,377	3,245
仕掛品	1,774	1,669
原材料及び貯蔵品	3,718	4,166
繰延税金資産	118	131
その他	381	246
貸倒引当金	△300	△345
流動資産合計	30,402	29,692
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,563	2,432
機械装置及び運搬具（純額）	139	132
工具、器具及び備品（純額）	184	184
土地	2,971	2,971
有形固定資産合計	5,859	5,721
無形固定資産		
	202	171
投資その他の資産		
投資有価証券	6,017	6,493
繰延税金資産	100	103
その他	446	441
貸倒引当金	△110	△120
投資その他の資産合計	6,453	6,917
固定資産合計	12,515	12,810
資産合計	42,917	42,503

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,918	7,931
短期借入金	4,000	4,100
1年内返済予定の長期借入金	2,043	1,018
未払法人税等	265	240
賞与引当金	500	594
その他	2,905	2,442
流動負債合計	17,633	16,327
固定負債		
長期借入金	9,013	8,000
繰延税金負債	757	898
役員退職慰労引当金	334	270
環境対策引当金	185	185
退職給付に係る負債	4,714	4,526
その他	77	68
固定負債合計	15,083	13,948
負債合計	32,717	30,276
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,214	9,214
資本剰余金	8,211	8,211
利益剰余金	△11,270	△10,094
自己株式	△54	△55
株主資本合計	6,100	7,275
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,712	2,038
為替換算調整勘定	△104	199
退職給付に係る調整累計額	△568	△533
その他の包括利益累計額合計	1,040	1,705
非支配株主持分	3,059	3,245
純資産合計	10,200	12,227
負債純資産合計	42,917	42,503

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年6月30日)
売上高	38,903	32,499
売上原価	30,848	26,476
売上総利益	8,055	6,022
販売費及び一般管理費	3,924	3,892
営業利益	4,130	2,130
営業外収益		
受取利息	47	37
受取配当金	53	56
為替差益	—	80
受取ロイヤリティー	—	64
貸倒引当金戻入額	96	—
その他	120	149
営業外収益合計	318	388
営業外費用		
支払利息	151	188
為替差損	172	—
航空事業安全対策費	34	—
その他	222	19
営業外費用合計	582	208
経常利益	3,866	2,310
特別利益		
固定資産売却益	3	0
投資有価証券売却益	—	0
投資有価証券償還益	6	—
損害賠償引当金戻入額	1,068	—
特別利益合計	1,078	0
特別損失		
固定資産除売却損	1	1
特別損失合計	1	1
税金等調整前四半期純利益	4,943	2,310
法人税等	581	517
四半期純利益	4,362	1,793
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,028	1,176
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,334	616
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△173	326
為替換算調整勘定	△1,320	562
退職給付に係る調整額	△13	34
その他の包括利益合計	△1,507	923
四半期包括利益	2,854	2,716
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,138	1,841
非支配株主に係る四半期包括利益	716	874

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,943	2,310
減価償却費	281	300
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△10	42
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△193	△153
賞与引当金の増減額(△は減少)	235	93
損害賠償引当金戻入額	△1,068	—
受取利息及び受取配当金	△101	△93
支払利息	151	188
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△0
投資有価証券償還損益(△は益)	△6	—
固定資産除売却損益(△は益)	△1	0
売上債権の増減額(△は増加)	3,398	1,681
たな卸資産の増減額(△は増加)	△67	70
仕入債務の増減額(△は減少)	△992	△189
その他	△343	△729
小計	6,224	3,522
利息及び配当金の受取額	107	99
利息の支払額	△143	△189
損害賠償金の支払額	△6,468	—
法人税等の支払額	△516	△369
営業活動によるキャッシュ・フロー	△796	3,062
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△49	△134
有形固定資産の売却による収入	3	2
無形固定資産の取得による支出	△42	△8
投資有価証券の取得による支出	△3	△3
投資有価証券の売却及び償還による収入	105	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	12	△144
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△8,200	100
長期借入れによる収入	10,000	—
長期借入金の返済による支出	△55	△2,038
非支配株主への配当金の支払額	△1,275	△685
その他	△1	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	466	△2,624
現金及び現金同等物に係る換算差額	△310	106
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△628	399
現金及び現金同等物の期首残高	6,341	4,105
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,713	4,504

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成27年10月1日 至 平成28年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益及び包括 利益計算書 計上額 (注) 2
	輸送機器 関連事業	電気機器 関連事業	住設環境 関連事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	20,412	17,232	1,258	38,903	—	38,903
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,970	985	—	2,955	△2,955	—
計	22,382	18,218	1,258	41,859	△2,955	38,903
セグメント利益	4,343	391	11	4,745	△614	4,130

(注) 1. セグメント利益の調整額△614百万円は、各報告セグメントに配分していない提出会社の管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成28年10月1日 至 平成29年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益及び包括 利益計算書 計上額 (注) 2
	輸送機器 関連事業	電気機器 関連事業	住設環境 関連事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	14,975	16,379	1,144	32,499	—	32,499
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,221	999	—	3,220	△3,220	—
計	17,196	17,379	1,144	35,720	△3,220	32,499
セグメント利益 又は損失(△)	2,317	529	△91	2,755	△624	2,130

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△624百万円は、各報告セグメントに配分していない提出会社の管理部門等に係る費用です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。